

蔵王



Rotary



ロータリーの理想 と 職業奉仕

R I 第2800地区ガバナー (2017-18)

山形県：寒河江RC 鈴木 一作



Rotary



ロータリーの理想 と 職業奉仕

ロータリーを振り返り、
ロータリー観の再整理を！



第1部 ロータリー理想

「ロータリーの理想」という言葉を 好んで使っていた著名ロータリアン



Guy Gundaker 1923-24年度 R I 会長

「A Talking Knowledge of Rotary」



Bhichai Rattakul 2002-03年度 R I 会長

「慈愛の種を播きましょう」



米山梅吉

「ロータリーの理想と友愛」

「ロータリーの理想」という言葉を 好んで使っていた著名ロータリアン



Guy Gundaker

1923-24年度 R I 会長

「A Talking Knowledge of Rotary」



Bhichai Rattakul

2002-03年度 R I 会長

「慈愛の種を播きましょう」



米山梅吉

Guy Gundaker + 国際親善

「ロータリーの理想」という言葉を 好んで使っていた著名ロータリアン



Guy Gundaker

1923-24年度 R I 会長

「A Talking Knowledge of Rotary」



Bhichai Rattakul

2002-03年度 R I 会長

Guy Gundaker + 世界平和



米山梅吉

Guy Gundaker + 国際親善

「ロータリーの理想」という言葉を
好んで使っていた著名ロータリアン



Guy Gundaker

1923-24年度 R I 会長

「A Talking Knowledge of Rotary」



Bhichai Rattakul

2002-03年度 R I 会長

Guy Gundaker + 世界平和



米山梅吉

Guy Gundaker + 国際親善

「ロータリーの理想」という言葉を
好んで使っていた著名ロータリアン



Guy Gundaker

1923-24年度 R I 会長

「A Talking Knowledge of Rotary」

ロータリーの理想

The ideals of Rotary

ロータリーが目指すべき最高の姿

「ロータリーの理想」という言葉を
好んで使っていた著名ロータリアン



Guy Gundaker

1923-24年度 R I 会長

「A Talking Knowledge of Rotary」



概 要

A Talking Knowledge of Rotary (1916年)



1923-24年度
R I 会長

当時の

- ロータリーの 一般奉仕概念
- ロータリアンの 義務
- ロータリークラブの 責務

体系化

1916年 米国オハイオ州

シンシナティー国際大会

採択：史上初のクラブ運営のテキスト

A Talking Knowledge of Rotary (1916年)

1920年 東京RC設立



米山 梅吉

1922年 大阪RC設立



福島 喜三次

採択: 史上初のクラブ運営のテキスト

A Talking Knowledge of Rotary (1916年)



米山 梅吉



福島 喜三次

採択: 史上初のクラブ運営のテキスト

A Talking Knowledge of Rotary (1916年)



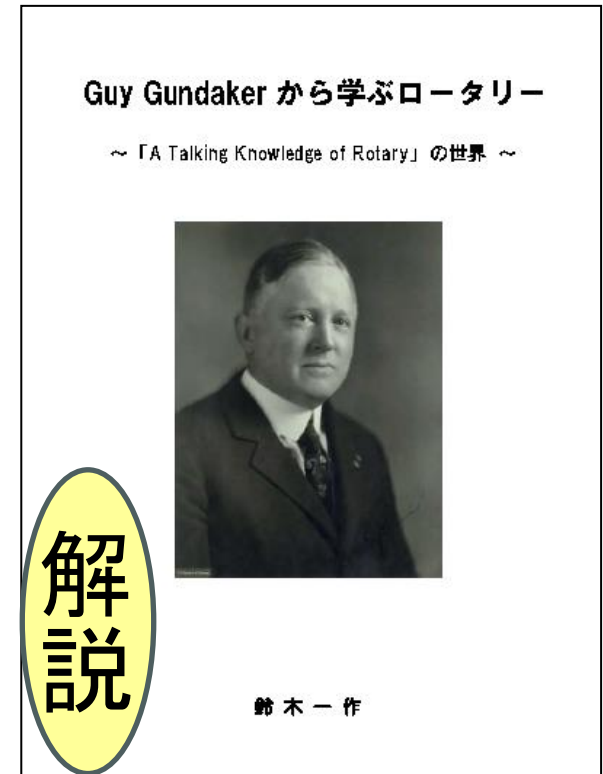
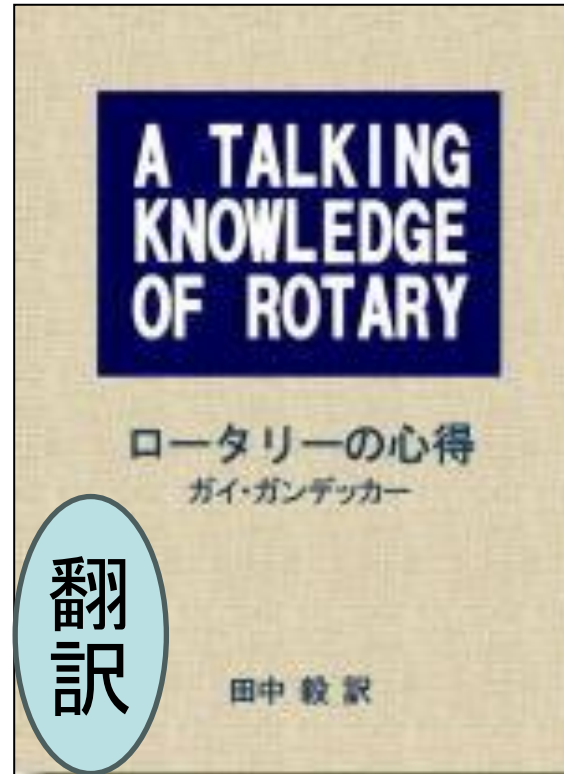
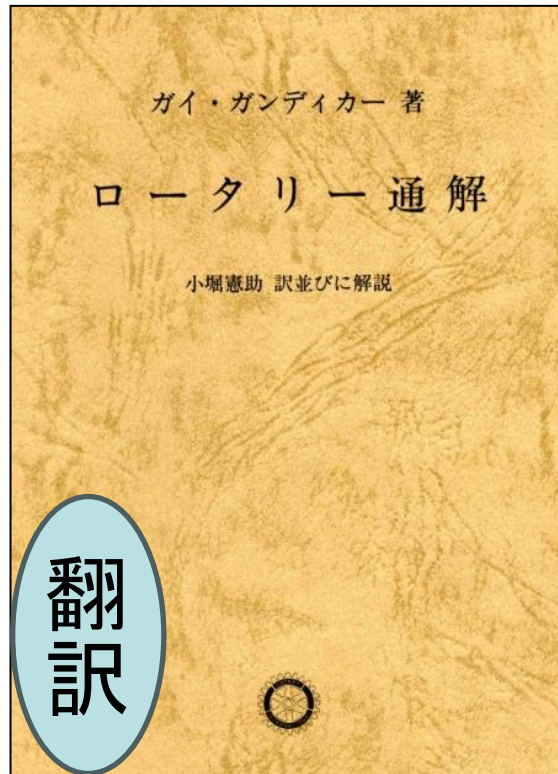
米山 梅吉



福島 喜三次

日本のロータリーの「DNA」

A Talking Knowledge of Rotary (1916年)



日本のロータリーの「DNA」

第1部 ロータリー理想

Guy Gundaker が考える

ロータリー理想

→ 先ず、結論から...



日本のロータリーの「DNA」

ロータリーの理想

(Guy Gundaker)

全てのロータリアンが、

- クラブ会員としての「ロータリアンの務め」
- 職業人としての「ロータリアンの務め」
- 地域住民としての「ロータリアンの務め」

を ロータリーで学び、身につけながら、

それらを個人生活、事業生活、社会生活など、

日常のあらゆる場面や分野で実践する姿、状態

ロータリーの理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

全てのロータリアンが、

- クラブ会員としての「ロータリアンの務め」
- 職業人としての「ロータリアンの務め」
- 地域住民としての「ロータリアンの務め」

を ロータリーで学び、身につけながら、

- ・ 会員、クラブ、事業、業界全体の「向上」
- ・ 家庭、町、州、国、社会全体の「向上」

ロータリーの理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

素晴らしい真のロータリアンを
育て、支援し、増やしていけば、
世の中は良くなる

- ・ 会員、クラブ、事業、業界全体の「向上」
- ・ 家庭、町、州、国、社会全体の「向上」

ロータリー理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

素晴らしい真のロータリアンを
育て、支援し、増やしていけば、
世の中は良くなる



逆転しない正義

ロータリーの理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

素晴らしい真のロータリアンを
育て、支援し、増やしていけば、
世の中は良くなる



不変の本質

ロータリー理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

理想達成のための

「課題」は？



不変の本質

ロータリーの理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

全てのロータリアンが、

- クラブ会員としての「ロータリアンの務め」
- 職業人としての「ロータリアンの務め」
- 地域住民としての「ロータリアンの務め」

を ロータリーで学び、身につけながら、

それらを個人生活、事業生活、社会生活など、

日常のあらゆる場面や分野で実践する姿、状態

ロータリー理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

全てのロータリアンが、

● クラブ会員としての「ロータリアンの務め」
内容の理解

「ロータリアンの務め」

● 地域に氏としての「ロータリアンの務め」
を ロータリーで学び、身につける

クラブ運営

それらを 職業生活、日常生活、余暇生活で実践する姿、状態
実践の意欲

ロータリーの理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

全てのロータリアンが、

● クラブ会員としての「ロータリアンの務め」
内容の理解

● 地域に氏としての「ロータリアンの務め」
を ロータリーで学び、身につける
それらを通じて、職業生活、日常生活、国際社会の発展に貢献する姿、状態
実践の意欲

クラブ運営

第1部 ロータリー理想

Guy Gundaker が考える



ロータリー理想

ロータリアンの務め

ロータリアンの務め

1. クラブ会員としてのロータリアンの務め
2. 職業人としてのロータリアンの務め
 - ① 事業経営者としてのロータリアンの務め
 - ② 業界人としてのロータリアンの務め
3. 地域住民としてのロータリアンの務め

ロータリアンの務め

1. クラブ会員としてのロータリアンの務め
2. 職業人としてのロータリアンの務め
 - ① 事業経営者としてのロータリアンの務め
 - ② 業界人としてのロータリアンの務め
3. 地域住民としてのロータリアンの務め

クラブ会員としての ロータリアンの務め



クラブの例会に必ず出席すること

会員同士が積極的に交流すること

(懇談、情報交換、意見交換、討論)

会員スピーチ、クラブフォーラム



親睦 学び 成長

クラブ会員としての ロータリアンの務め



クラブの例会に必ず出席すること
会員同士が積極的に交流すること

（懇談、情報交換、意見交換、討論）

会員スピーチ、クラブフォーラム

敬愛、信頼、経営のヒント、
職業観、人生観、ロータリー観、
奉仕の意欲、喜び、満足感、
使命感、誇り、成功や飛躍の機会

クラブ会員としての ロータリアンの務め



例会出席、自分磨き
仲間磨き、クラブ磨き

親
睦

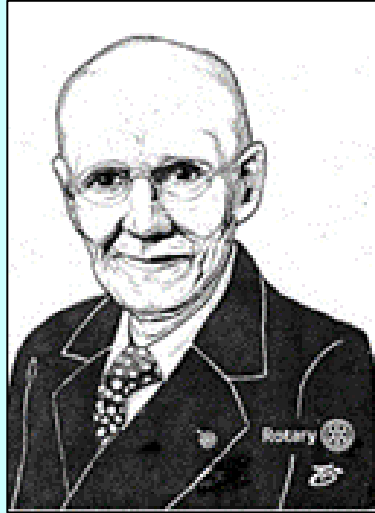
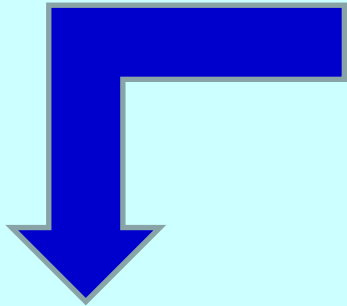
学び

成長

クラブ会員の誰もが、
素晴らしい真のロータリアンになる

他の会員や
クラブへの奉仕

Paul Percy Harris の 言葉

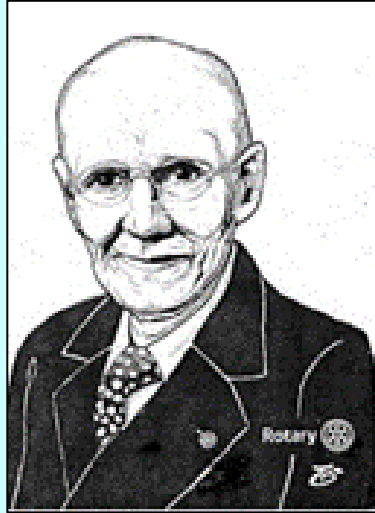
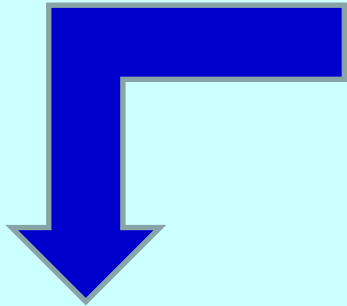


寛 容
(toleration)

我々は、お互いに相手の欠点を
我慢し合うことの大切さ、すなわち
「toleration」 の価値を学んできた。

“Rational Rotarianism” : 「The National Rotarian」 創刊号 (1911年)

Paul Percy Harris の 言葉

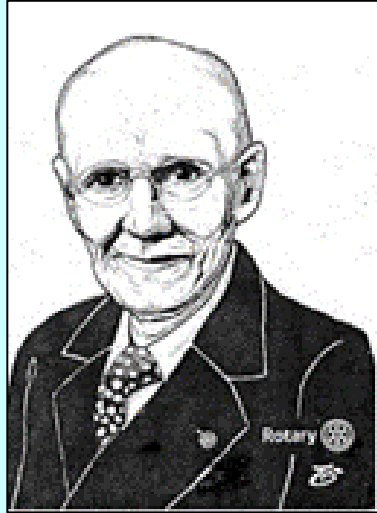
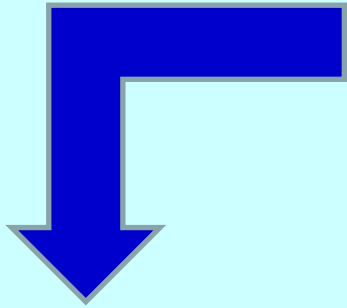


寛 容
(toleration)

我々は、お互いに相手の欠点を
我慢し合うことの大切さ、すなわち
「toleration」 の価値を学んできた。

我慢、尊重、許容、上手くやる

Paul Percy Harris の言葉

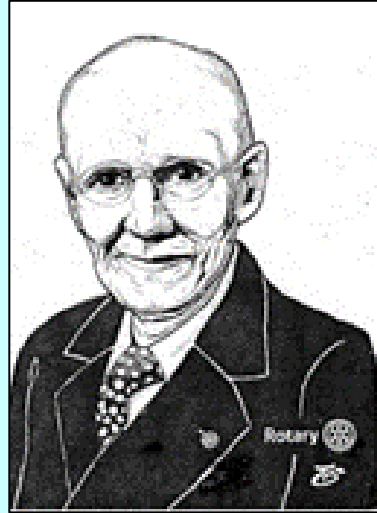
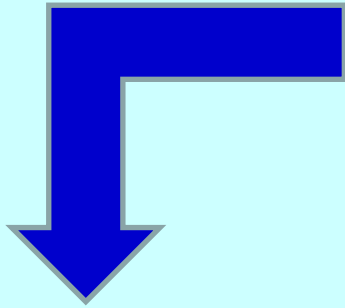


寛容
(toleration)

ロータリーの発展は、
「toleration」にかかっている。

我慢、尊重、許容、上手くやる

Paul Percy Harris の言葉



寛容
(toleration)



2022-23年度
RI 会長

DEI

{ Diversity
Equity
Inclusion

DEI { 多様性 公平性 包摂性

多様な人材が公平に扱われ、
そうした状態が十分に活かされ、かつ
機能する組織運営や社会体制のこと
そのためには？ が 抜けている

DEI { 多様性
公平性
包摂性

世の中は、理不尽である。

ロータリーもまた、理不尽である。

（苦悩、葛藤、対立）

そのためには？ が 抜けている

DEI { 多様性
公平性
包摂性

“親睦”を重視するロータリーに、
「排除の論理」は あってはならない！
（苦悩、葛藤、対立）

そのためには？ が 抜けている

DEI

寛容
(toleration)

“親睦”を重視するロータリーに、
「排除の論理」は あってはならない！
(苦悩、葛藤、対立)

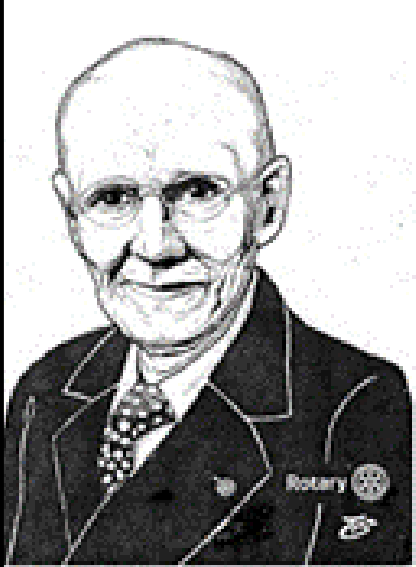
そのためには？ が 抜けている

DEI

寛容
(toleration)

“親睦”を重視するロータリーに、
「排除の論理」は あってはならない！
(苦悩、葛藤、対立)

我慢、尊重、許容、上手くやる



寛容 (toleration)

ロータリーの発展は、
「toleration」にかかっている。

我慢、尊重、許容、上手くやる

クラブ会員としての ロータリアンの務め

例会出席、自分磨き
仲間磨き、クラブ磨き

寛容
(toleration)

親睦

学び

成長

クラブ会員の誰もが、
素晴らしい真のロータリアンになる

**他の会員や
クラブへの奉仕**

ロータリアンの務め

1. クラブ会員としてのロータリアンの務め

2. 職業人としてのロータリアンの務め

① 事業経営者としてのロータリアンの務め

② 業界人としてのロータリアンの務め

3. 地域住民としてのロータリアンの務め

職業人としての **ロータリアンの務め**

事業経営者としての ロータリアンの務め

ロータリーが説く 「職業上の高い倫理基準」と
「奉仕の諸原則」を、自分の事業で実践する

一日の大部分は仕事に従事してい

る



ロータリアンとして、最も重要な務め

職業人としての **ロータリアンの務め**

業界人としての ロータリアンの務め

ロータリアンは、ロータリークラブから
各々の業界に派遣された代表者（大使）

他の同業者に働きかけながら、
「職業倫理」と「奉仕」の普及に努め、
業界全体を向上発展させていく



ロータリアンとして、最大の奉仕の機会

職業人としての **ロータリアンの務め**

業界人としての ロータリアンの務め

ロータリアンは、ロータリークラブから
各々の業界に派遣された代表者（大使）

（ 現 代 ）

ガバナンス、コンプライアンス、リスクマネジメント、CSR



ロータリアンとして、最大の奉仕の機会

ロータリアンの務め

1. クラブ会員としてのロータリアンの務め
2. 職業人としてのロータリアンの務め
 - ① 事業経営者としてのロータリアンの務め
 - ② 業界人としてのロータリアンの務め
3. 地域住民としてのロータリアンの務め

地域住民としての ロータリアンの務め

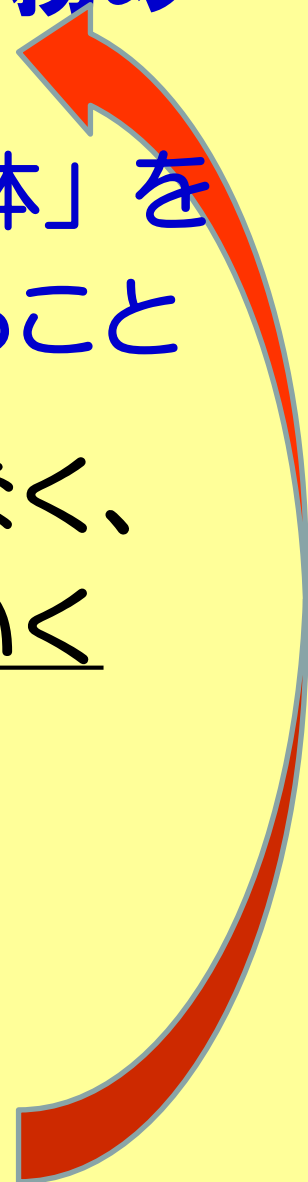
「個人」または「公共的な慈善団体」を通じて、積極的に地域貢献をすること

家族愛を、実業の世界だけでなく、
町、州、国へと及ぼし広げていく

良き家庭人たれ！

良き事業人たれ！

良き市民たれ！



ロータリアンの務め

1. クラブ会員としてのロータリアンの務め
2. 職業人としてのロータリアンの務め
 - ① 事業経営者としてのロータリアンの務め
 - ② 業界人としてのロータリアンの務め
3. 地域住民としてのロータリアンの務め



これらの務めを果たす「証」が、

ロータリーの徽章

いつでも どこでも、ロータリアン！

ロータリアンの務め

1. クラブ会員としてのロータリアンの務め
2. 職業人としてのロータリアンの務め
 - ① 事業経営者としてのロータリアンの務め
 - ② 業界人としてのロータリアンの務め
3. 地域住民としてのロータリアンの務め



社会奉仕

ロータリアンの務め

1. クラブ会員としてのロータリアンの務め
2. 職業人としてのロータリアンの務め
 - ① 事業経営者としてのロータリアンの務め
 - ② 業界人としてのロータリアンの務め



職業奉仕



ロータリアンの務め

1. クラブ会員としてのロータリアンの務め



△ クラブ奉仕 ?



ちよつと、脱線

国際ロータリーも
日本のロータリアンも
誤解している「クラブ奉仕」



21世紀の先進国で、
会員が減少してきた理由？

クラブ奉仕とは？

●1927年 ベルギーのオステンド国際大会

「目標設定計画(The Aims and Objects Plan)」採択

それまでのロータリー的一般奉仕概念が、

クラブ奉仕、**職業奉仕**、**社会奉仕** に分割

●1928年 米国ミネアポリス大会 「**国際奉仕**」追加

●2010年 規定審議会 「**青少年奉仕**」追加

現在の五大奉仕(部門)

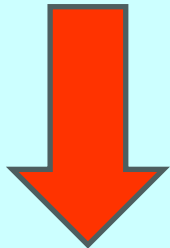
クラブ奉仕とは？

●1927年 ベルギーのオステンド国際大会

「目標設定計画(The Aims and Objects Plan)」採択

それまでのロータリー的一般奉仕概念が、

クラブ奉仕、**職業奉仕**、**社会奉仕** に分割



この時のクラブ奉仕の定義は
どういう内容だったのか？

1927年 目標設定計画 (The Aims and Objects Plan)

クラブ奉仕の説明

この時のクラブ奉仕の定義は
どういう内容だったのか？

1927年 目標設定計画 (The Aims and Objects Plan)

クラブ奉仕の説明

(1931年 R I が正式な解説書を発行)

～ 1931年 The Aims and Objects Plan (Pamphlet No.3) ～

1927年 目標設定計画 (The Aims and Objects Plan)

クラブ奉仕の説明

(1931年 RIが正式な解説書を発行)

- * クラブ会員が、クラブに対して果たす **義務**
- * クラブが、クラブ会員に対して果たす **責務**

*Each Individual Rotarian has **a duty** to the particular club of which he is a member ;*
*each club has **a responsibility** toward the men who compose its membership.*

～ 1931年 The Aims and Objects Plan (Pamphlet No.3) ～

A Talking Knowledge of Rotary (1916年)

(ロータリーのクラブ運営のテキスト)

クラブ奉仕の説明

(1931年 R I が正式な解説書を発行)

- * クラブ会員が、クラブに対して果たす義務
- * クラブが、クラブ会員に対して果たす責務

*Each Individual Rotarian has **a duty** to the particular club of which he is a member ;*
*each club has **a responsibility** toward the men who compose its membership.*

～ 1931年 The Aims and Objects Plan (Pamphlet No.3) ～

A Talking Knowledge of Rotary (1916年)

(ロータリーのクラブ運営のテキスト)



- ロータリーの 一般奉仕概念
- ロータリアンの 義務
- ロータリークラブの 責務

体系化

* クラブ会員が、クラブに対して果たす 義務

* クラブが、クラブ会員に対して果たす 責務

*Each Individual Rotarian has **a duty** to the particular club of which he is a member ;*
*each club has **a responsibility** toward the men who compose its membership.*

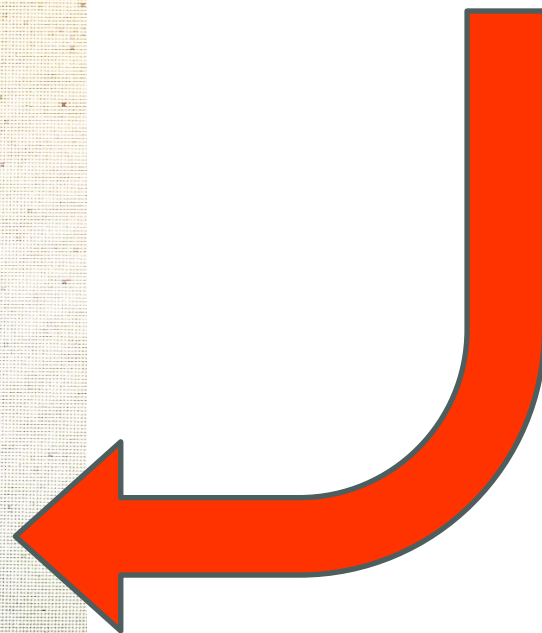
～ 1931年 The Aims and Objects Plan (Pamphlet No.3) ～

1932年 手続要覧 目次

クラブ奉仕

TABLE OF CONTENTS

Convention Resolutions in Force and Effect....	5
Administration and Organization of Rotary International	18
Area or Regional Administration.....	18
District Administration	22
Canadian Advisory Committee.....	36
European Advisory Committee.....	39
Convention	47
Regional Conferences	59
Constitutional Matters	64
Financial Matters	69
Rotary Foundation	79
Extension	83
Aims and Objects.....	91
Club Service	96
Attendance at Club Meetings.....	98
Classifications	108



CLUB SERVICE

The aims and objects plan recognizes four principal channels open to the Rotarian seeking to promote the program of Rotary as set forth in the objects. One of these channels is that of club service. Each individual Rotarian has a duty to the particular club of which he is a member; each club has a responsibility toward the men who compose its membership. The member must grow and develop in Rotary within his club, thus developing himself, his fellow members and his club. The club must encourage and aid the member in this development.

1932年 手続要覧 P96

クラブ奉仕

Each Individual Rotarian has a duty to the particular club of which he is a Member; each club has a responsibility toward the members who compose its membership.

The member must grow and develop in Rotary within his club, thus developing himself, his fellow members and his club.

The club must encourage and aid the member in the development.

クラブ会員は、クラブの中でロータリアンとして成長発展しなくてはならない。それは、自分自身の向上のみならず、他の会員の向上、クラブの成長発展にも貢献するということである。

クラブは、会員の成長発展を奨励し、援助しなければならない。

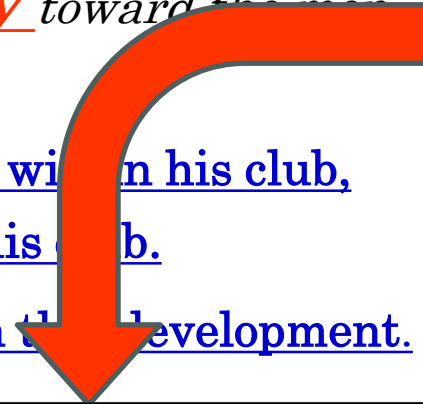
1932年 手続要覧 P96

クラブ奉仕

Each Individual Rotarian has a duty to the particular club of which he is a Member; each club has a responsibility toward the members who compose its membership.

The member must grow and develop in Rotary within his club, thus developing himself, his fellow members and his club.

The club must encourage and aid the member in the development.



クラブ会員の義務
クラブ(リーダー)の責務
協同作業

蔵王



ロータリーの理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

全てのロータリアンが、

● クラブ会員としての「ロータリアンの務め」

内容の理解 「ロータリアンの務め」

● 地域に氏としての「ロータリアンの務め」

をロータリーで学び、身につける

それらを社会・職業生活、

日常生活のあらゆる分野で実践する姿、状態

クラブ運営

実践の意欲

第1部 ロータリー理想

Guy Gundaker が考える



ロータリー理想

クラブ運営

(クラブ・リーダーの責務)

クラブ運営

(クラブ・リーダーの責務)



**「会員の成長発展を奨励し、
援助しなければならない」**

- 1) クラブ会長の矜持
- 2) 魅力的で価値ある例会
- 3) 魅力的で価値ある奉仕プロジェクト
- 4) クラブの一体感と居心地のよさ



クラブ運営

(クラブ・リーダーの責務)



「会員の成長発展を奨励し、
援助しなければならない」

1) クラブ会長の矜持

2) 魅力的で価値ある例会

3) 魅力的で価値ある奉仕プロジェクト

4) クラブの一体感と居心地のよさ



クラブ会長の矜持

●会長の覚悟、情熱、リーダーシップ

- 人生は一度しかない
- 任期は1年でも、クラブでは
主役、座長、大統領と同じ
→ やる以上は最高を目指す

会長だけに与えられた
“自分磨き”の1年

クラブ会長の矜持

クラブの会員は、誰もが多忙な中、
時間を自己管理できる経営者であるからこそ、
仕事をやりくりして例会に出席しています。

それは、食事のためではなく、
例会に身を置きたいと思う『何か』があるからです。

**会長だけに与えられた
“自分磨き”の1年**

クラブ会長の矜持

クラブの会員は、誰もが多忙な中、時間を自己管理できる経営者であるからこそ、仕事をやりくりして例会に出席しています。

それは、食事のためではなく、例会に身を置きたいと思う『何か』があるからです。

だからこそ**クラブ会長**は、その『何か』について、例会できちんと提供しているという**認識と自負**を持たなくてはなりません。

クラブ会長の矜持

クラブの会員は、誰もが多忙な中、
時間を自己管理できる経営者であるからこそ、
仕事を怠らなければならぬ。

例会に、来てよかった！

置きたい。という。9。

だからこそ**クラブ会長**は、その『何か』に
ついて、**例会できちんと提供しているという**
認識と自負を持たなくてはなりません。

クラブ運営

(クラブ・リーダーの責務)



「会員の成長発展を奨励し、
援助しなければならない」

1) クラブ会長の矜持

2) 魅力的で価値ある例会

3) 魅力的で価値ある奉仕プロジェクト

4) クラブの一体感と居心地のよさ



魅力的で価値ある例会

- 会員同士が交流し、経験や意見を語り合い、誠実な人柄に触れ、敬愛の念を深め合う場。
- 会員の事業、生活、生き方に有益な情報や方法を入手し合う場。
- 奉仕の心を学び、理解し、実践の意欲を高め合う場。



**「親睦、学び、成長、奉仕」を
主体とした例会運営**

魅力的で価値ある例会

① 会員同士の交流の時間

＊ 懇談、情報交換、意見交換、討論

② 敬愛に繋がる 会員スピーチ

＊ 事業経営、職業観、ロータリー観、人生観

③ 価値のある ゲストスピーチ



「親睦、学び、成長、奉仕」を
主体とした例会運営

魅力的で価値ある例会

① 会員同士の交流の時間

＊ 懇談、情報交換、意見交換、討論

② 敬愛に繋がる 会員スピーチ

＊ 事業経営、職業観、ロータリー観、人生観

③ 価値のある ゲストスピーチ

④ 魅力的で分かり易い ロータリー研修

⑤ 心が洗われる 会長挨拶

心が洗われる会長挨拶

会長にとって、

- ・会員のロータリアンとしての
士気を高めるために、
- ・会長に対する信頼と敬愛の念を
会員の心に醸成していくために、
- ・クラブの活性化と一体感を
もたらすために、

最大の武器 は、

心が洗われる **会長挨拶** です。

心が洗われる会長挨拶

会長挨拶は、会長だけの特権です。

しかも、会長が唯一の実行者であり、かつ唯一の責任者です。

命を削る思いで準備に取り組み、毎週、ロータリーの素晴らしさ、ロータリアンの喜びと矜持について語って欲しい。

最大の武器 は、
心が洗われる 会長挨拶 です。

心が洗われる会長挨拶

会長挨拶は、会長だけの特権です。

しかも、会長が唯一の実行者であり、かつ唯一の責任者です。

命を削る思いで準備に取り組み、毎週、ロータリーの素晴らしさ、ロータリアンの喜びと矜持について語って欲しい。

- ・「今日の会長挨拶は、心が洗われたよ」
- ・「私は、ロータリーに入って良かった」

心が洗われる会長挨拶

- * テーマ、構成、展開などを事前に十分考える
- * 話すスピード(1分 300字)、抑揚、間、目線、表情、ジェスチャー、マイクの角度、マイクまでの距離などに気を配る
- * 文の最初に「え～」という言葉を使わず、前後の文の繋がりが分かる接続詞を多用する
- * 落ち着いて、心をこめて話す
伝えた（話した）ではなく、
伝わった（理解され、感動をもたらした）
- * 事前の練習は必須

心が洗われる会長挨拶

* テーマ、構成、服装などを事前に十分考える

* 話し手として、
**会長だけに与えられた
“自分磨き”の1年**

* 事前の練習は必須
前回は人の集まる場だから、技術的に上手にする

* 落ち差いて、心を洗って話す

例会に、来てよかった！

伝わった、心が洗われた、感動もした（笑）

* 事前の練習は必須

クラブ運営

(クラブ・リーダーの責務)



「会員の成長発展を奨励し、
援助しなければならない」

- 1) クラブ会長の矜持
- 2) 魅力的で価値ある例会
- 3) 魅力的で価値ある奉仕プロジェクト
- 4) クラブの一体感と居心地のよさ



魅力的で価値ある 奉仕プロジェクト

会員の皆が知恵と汗を出し、
クラブー体感と達成感に満ちた、
貢献度の高い 奉仕プロジェクト

寄付や寄贈(だけ)ではなく、
活動参加型の奉仕プロジェクト！

魅力的で価値ある 奉仕プロジェクト

会員の皆が知恵と汗を出し、

奉仕プロジェクトに
参加してよかった！

寄付や寄贈(だけ)ではなく、
活動参加型の奉仕プロジェクト！

クラブ運営

(クラブ・リーダーの責務)



「会員の成長発展を奨励し、
援助しなければならない」

- 1) クラブ会長の矜持
- 2) 魅力的で価値ある例会
- 3) 魅力的で価値ある奉仕プロジェクト
- 4) クラブの一体感と居心地のよさ



クラブの一体感と居心地の良さ

- ◎ クラブ会長の矜持
- ◎ 魅力的で価値ある 例会
- ◎ 魅力的で価値ある 奉仕プロジェクト

クラブの一体感と居心地の良さ

- ◎ クラブ会長「自分磨きの1年！」
- ◎ 例会に来てよかった！
- ◎ 奉仕プロジェクトに参加してよかった！

留意して欲しいこと

- 例会は、ホッとする場、憩いの場、
明るく楽しい場、親睦と学びと成長の場
- 新入会員やゲストを含め、
誰もが疎外感を感じない配慮
- 例会スケジュールの時間配分と時間厳守
- 心が洗われる会長挨拶

クラブの一体感と居心地の良さ

- ◎ クラブ会長「自分磨きの1年！」
- ◎ 例会に来てよかった！
- ◎ 奉仕プロジェクトに参加してよかった！

留意して欲しいこと

Grow Rotarians

Enjoy Rotary

クラブ運営の要

- ◎ クラブ会長「自分磨きの1年！」
- ◎ 例会に来てよかった！
- ◎ 奉仕プロジェクトに参加してよかった！

留意して欲しいこと

Grow Rotarians

Enjoy Rotary

蔵王



ロータリー理想

ロータリーが目指すべき最高の姿

全てのロータリアンが、

● クラブ会員としての「ロータリアンの務め」
● 地域に氏としての「ロータリアンの務め」
● ロータリーとしての「ロータリアンの務め」

をロータリーで学び、身につける

それらを、職業生活、

日常生活

で実践する姿、状態

内容の理解

クラブ運営

実践の意欲

第1部 ロータリー理想

Guy Gundaker が考える

ロータリー理想



ロータリークラブの在るべき姿
(実践の意欲)

ロータリークラブの在るべき姿



入りにて 睦み学び成長し、

出でて 向上発展に努めよ

ロータリークラブの在るべき姿



入りにて

クラブ奉仕

出でて 向上発展に努めよ

ロータリークラブの在るべき姿



クラブ奉仕

クラブ会員の義務

クラブ(リーダー)の責務

協同作業

ロータリークラブの在るべき姿

クラブ会員

例会出席、自分磨き
仲間磨き、クラブ磨き

クラブ（リーダー）

会員の成長発展を
奨励し、援助すること

自覚



睦み学び
成長の場



例会に来てよかった！

ロータリークラブの在るべき姿

Grow Rotarians

Enjoy Rotary

↓
喜び、満足

自覚



**睦み学び
成長の場**



例会に来てよかった！

“クラブの文化”

Grow Rotarians

Enjoy Rotary

喜び、満足

自覚

**睦み学び
成長の場**

例会に来てよかった！

“クラブの文化”

Grow Rotarians

Enjoy Rotary



喜び、満足

素晴らしい真の
ロータリアン



実践の意欲



世の中は良くなる

ロータリーの理想

第1部 ロータリーの理想

Guy Gundaker が考える



ロータリーの理想 (まとめ)

What is Rotary ?

What is Rotary ?

ロータリーは、

選ばれた多様なリーダーが集い、

- ① 親睦と学びを基盤に、
- ② 立派なロータリアンを育てながら、
- ③ 価値ある奉仕を通じて、

社会に貢献する世界的な団体である。

親睦、学び、成長、奉仕

What is Rotary ?

ロータリーは、
選ばれた多様なリーダーが集い、

- ① 親睦と学びを基盤に、
- ② 立派なロータリアンを育てながら、
- ③ 価値ある奉仕を通じて、

社会に貢献する世界的な団体である。

親睦、学び、成長、奉仕

立派なロータリアン

・クラブ会員としての「ロータリアン」の終め

「ロータリーの理想」の 達成に励むロータリアン

それらを個人生活、事業生活、社会生活など

日常のあらゆる場面や分野で実践し、

会員のクラブ、事業、業界全体の向上、及

会員の家庭、地域、国、そして社会全体の

立派なロータリアン

「ロータリーの理想」の
達成に励むロータリアン

ロータリーの本質は、会員自身を、家庭を、
クラブを、事業を、業界を、そして社会全体
を **向上 (Betterment)** させることである。

立派なロータリアン



不変の本質

ロータリーの本質は、会員自身を、家庭を、クラブを、事業を、業界を、そして社会全体を **向上 (Betterment)** させることである。

蔵王



第2部 職業奉仕

(Vocational Service)

職業奉仕

1. 20世紀の職業奉仕

- ① 職業奉仕の萌芽
- ② 職業奉仕という名称
- ③ 職業奉仕は、ロータリーの根幹か？

2. 21世紀の職業奉仕

3. 職業奉仕は、難しい？

職業奉仕

1. 20世紀の職業奉仕

- ① 職業奉仕の萌芽
- ② 職業奉仕という名称
- ③ 職業奉仕は、ロータリーの根幹か？

2. 21世紀の職業奉仕

3. 職業奉仕は、難しい？

① 職業奉仕の萌芽

1905年 シカゴ・ロータリー クラブ創立

会員同士の商取引を奨励(原価取引)

1910年 全米ロータリー クラブ連合会

[綱領4] 進歩的で高潔な商取引の方法を推進すること

職業倫理の高揚

1915年 道徳律(職業倫理訓)の発行

① 職業奉仕の萌芽

1916年 A Talking Knowledge of Rotary

職業人としてのロータリアンの務め

ロータリーが説く「**職業上の高い倫理基準**」と
「**奉仕の諸原則**」を 事業で実践するとともに、
それらを業界にも広めること



職業倫理の高揚

道德律(職業倫理訓)の発行

① 職業奉仕の萌芽

1916年 A Talking Knowledge of Rotary

職業人としてのロータリアンの務め

ロータリーが説く「**職業上の高い倫理基準**」と
「**奉仕の諸原則**」を 事業で実践するとともに、
それらを業界にも広めること



- * 職務や商取引上の倫理高揚
- * 顧客や取引業者への十分な配慮
- * 従業員の教育、幸福
- * 事業・業界・社会の向上発展

① 職業奉仕の萌芽

1916年 A Talking Knowledge of Rotary

職業人としてのロータリアンの務め

ロータリアンは、

- 誰もが職業人である
- 一日の大部分は、仕事に従事している
- 事業と業界の発展は、社会の繁栄に繋がる

事業活動 **こそが、最も重要な務め**

業界活動 **こそが、最大の奉仕の機会**

② 職業奉仕という名称

●1927年「目標設定計画」採択

(ベルギーのオステンド国際大会)

それまでのロータリーの一般奉仕概念が、
「**職業奉仕**」、「**クラブ奉仕**」、「**社会奉仕**」に分割



その時の定義は？

② 職業奉仕という名称

- 1927年「目標設定計画」採択
- 1931年 R I が正式な解説書を発行

The Aims and Objects Plan (Pamphlet No.3)

by vocational service is meant the active expression of the ideal of Service by the individual Rotarian in and through the profession, trade, or other group covered by his classification.



その時の定義は？

② 職業奉仕という名称

- 1927年「目標設定計画」採択

- 1931年 R I が正式な解説書を発行

The Aims and Objects Plan (Pamphlet No.3)

by vocational service is meant the active expression of the ideal of Service by the individual Rotarian in and through the profession, trade, or other group covered by his classification.

職業奉仕とは、自己の職業における
専門職務、商取引、業界団体などにおいて、
ロータリアン個人が行うべき
「奉仕の理念の積極的な実践」である。

② 職業奉仕という名称

- 1927年「目標設定計画」採択

- 1931年 R I が正式な解説書を発行

The Aims and Objects Plan (Pamphlet No.3)

by vocational service is meant the active expression of the ideal of Service by the individual Rotarian in and through the profession, trade, or other group covered by his classification.

ロータリーの「**奉仕理念**」を、
自分の事業や業界で実践する

② 職業奉仕という名称

- 1927年「目標設定計画」採択
- 1931年 R I が正式な解説書を発行



「A Talking Knowledge of Rotary」の内容と同じ

職業人としてのロータリアンの務め

ロータリーの「奉仕理念」を、
自分の事業や業界で実践する

③ 職業奉仕は、ロータリーの根幹か？

●1927年「目標設定計画」採択

●1931年 R I が正式な解説書を発行 

職業奉仕は、「ロータリーの目的」（1922年改訂版）

6項目のうち、以下の4項目を鼓吹、育成すること。

1. あらゆる有用な事業の基礎として奉仕の理想
2. 事業および専門職務の高度の道徳的水準
3. 全てのロータリアンは、その事業生活および社会生活に奉仕の理念を適用すること
5. すべての有用な職業の価値を認識し、ロータリアン各自が職業を社会に奉仕する機会として品位あらしめること

③ 職業奉仕は、ロータリーの根幹か？

それだけに、

「**職業奉仕は、ロータリーのプログラムの主要部分である**」と記載されている。

- 
1. あらゆる有用な事業の基礎として奉仕の理想
 2. 事業および専門職の高度の道徳的水準
 3. 全てのロータリアンが、その事業生活および社会生活に奉仕の理念を適用する

職業奉仕 を学び、実践することは、
ロータリー を学び、実践することである。

誠意として地位めつめること

③ 職業奉仕は、ロータリーの根幹か？

職業奉仕プログラムの一つの構成要素

四つのテスト

(1943年)



世界的に普及

職業奉仕 を学び、実践することは、
ロータリー を学び、実践することである。

③ 職業奉仕は、ロータリーの根幹か？

ロータリアンは、



- * 誰もが職業人である
- * 一日の大部分は、仕事に従事している
- * 事業と業界の発展は、社会の繁栄に繋がる
- 事業活動こそが、最も重要な務め
- 業界活動こそが、最大の奉仕の機会

職業奉仕 を学び、実践することは、
ロータリー を学び、実践することである。

③ 職業奉仕は、ロータリーの根幹だ！

ロータリアンは、

20世紀

- * 誰もが職業人である
- * 一日の大部分は、仕事に従事している
- * 事業と業界の発展は、社会の繁栄に繋がる
- 事業活動こそが、最も重要な務め
- 業界活動こそが、最大の奉仕の機会

職業奉仕 を学び、実践することは、
ロータリー を学び、実践することである。

21世紀の ロータリーの根幹

奉仕の理念

the ideal of service

超我の奉仕

(service above self)

21世紀の ロータリー[®]の根幹

奉仕の理念

the ideal of service

「職業奉仕」は、
奉仕の理念、超我の奉仕
に含まれる（一部である）

本当の「ロータリーの根幹」

●20世紀 職業奉仕？

●21世紀 奉仕の理念？



逆転しない正義

本当の「ロータリーの根幹」

「ロータリーの理想」の達成に励む

“立派なロータリアン”を

育て、支援し、増やすこと

そのためには、



逆転しない正義

本当の「ロータリーの根幹」

「ロータリーの理想」の達成に励む

“立派なロータリアン”を

育て、支援し、増やすこと

そのためには、



クラブ奉仕

蔵王



職業奉仕

1. 20世紀の職業奉仕

- ① 職業奉仕の萌芽
- ② 職業奉仕という名称
- ③ 職業奉仕は、ロータリーの根幹か？

2. 21世紀の職業奉仕

3. 職業奉仕は、難しい？

1987年 職業奉仕に関する声明

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが 育成、支援する方法である。職業奉仕の理想に本来込められているものは次のものである。

自己の職業上の 手腕 を 社会の問題やニーズに役立てること

2. 自己の職業上はロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること；
3. 自己の職業上の手腕を
社会の問題やニーズに役立てること。

(以下省略)

手腕：知識、技術、経験

1987年 職業奉仕に関する声明

自己の職業上の手腕(知識・技術・経験)を
社会の問題やニーズに役立てること

1989年 ロータリアンの職業宣言

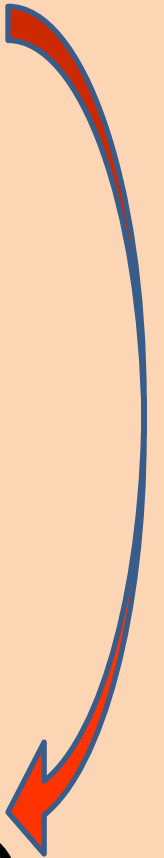
2011年 ロータリーの行動規範

2014年 ロータリーの行動規範(改定)

2014年 ロータリアンの行動規範

標準ロータリークラブ定款(第6条2)

「職業奉仕の定義」に 追加 (2016年)



1987年 職業奉仕に関する声明

自己の職業上の手腕(知識・技術・経験)を
社会の問題やニーズに役立てること

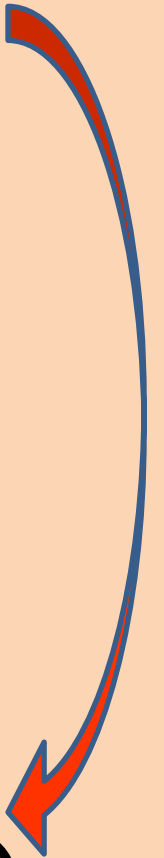
1987年以降、RIは

「職業を活かした社会貢献」

を強く推進してきた。

標準ロータリークラブ定款(第6条2)

「職業奉仕の定義」に追加(2016年)



21世紀の職業奉仕

●20世紀の職業奉仕

＊奉仕理念を自分の事業や業界で実践

職業人としてのロータリアンの務め

1987年 職業奉仕に関する声明

自己の職業上の手腕(知識・技術・体験)を
社会の問題やニーズに役立てる奉仕

(職業を活かした社会貢献)

●21世紀の職業奉仕

＊奉仕理念を自分の事業や業界で実践

＊職業を活かした社会貢献

職業人としてのロータリアンの務め

21世紀の職業奉仕

●20世紀の職業奉仕

＊奉仕理念を自分
業界で実践

職業人としてのロー
の務め

1987年 職業奉仕

自己の職業上の手
社会の問題や二
（職業
・体験）を
奉仕

社会貢献）

●21世紀の職業奉仕

＊奉仕理念を自分
業界で実践

＊職業を活かした

職業人としてのロー
の務め

職業人としての
ロータリアンの務め

職業奉仕

1. 20世紀の職業奉仕

- ① 職業奉仕の萌芽
- ② 職業奉仕という名称
- ③ 職業奉仕は、ロータリーの根幹か？

2. 21世紀の職業奉仕

3. 職業奉仕は、難しい？

職業奉仕 は 難しい？



これこそが
職業奉仕！

人によって、説明内容が違う？

職業奉仕 は 難しい？



職業倫理

職業を通じて社会に貢献すること

A F Sheldon の経営哲学

職業は天職である

ロータリーの目的（第2）

標準ロータリークラブ定款（第6条の2）

四つのテスト、職業倫理訓、大連宣言

職業奉仕は難しい？



職業倫理

**職業奉仕に対する考え方は、
歴史上、間違いなく幾つもある。
決して、1本の大木ではない。**

標準化されたテスト、職業倫理訓、大連宣言
四つのテスト、職業倫理訓、大連宣言

職業奉仕の森



職業奉仕の森

職業倫理 II 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用
(職業II社会への奉仕)

顧客、取引業者、

従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 II 天職(尊重、崇高)

職業を活かした

社会貢献

職業奉仕の森

職業倫理 Ⅱ 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用

(職業Ⅱ社会への奉仕)

顧客、取引業者、

従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 Ⅱ 天職(尊重、崇高)

職業を活かした

社会貢献

職業奉仕の森

職業倫理 II 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用
(職業 II 社会への奉仕)

顧客、取引業者、

従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 II 天職(尊重、崇高)

職業を活かした

社会貢献

職業奉仕の森

職業倫理 II 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用

(職業 II 社会への奉仕)

顧客、取引業者、

従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 II 天職(尊重、崇高)

職業を活かした

社会貢献

職業奉仕の森

職業倫理 II 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用

(職業II社会への奉仕)

顧客、取引業者、

従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 II 天職(尊重、崇高)

職業を活かした

社会貢献

職業奉仕の森

職業倫理 II 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用

(職業II社会への奉仕)

顧客、取引業者、

従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 II 天職(尊重、崇高)

職業を活かした

社会貢献

具体的に 考えてみよう

標準ロータリークラブ定款（第6条2）

標準ロータリークラブ定款（第6条）

2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、

そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。（2016年に追加）

標準ロータリークラブ定款（第6条）

職業倫理

職業＝天職

奉仕の理念

21 本会の目的は、事業および専門
職務の道徳的水準を高め、品位ある業

尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる

職業倫理

る中で奉仕の理念を生かしていくという

目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの
の理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、

そして自己の職業上の手腕を社会の問題や
ニーズに役立てるために、クラブが開発した

プロジェクトに応えることが含まれる。（2016年に追加）

標準ロータリークラブ定款（第6条）

職業倫理

職業＝天職

奉仕の理念

職業倫理

職業を活かした社会貢献

21 本会の各部門・職業は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業として尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる場面で奉仕の理念を生かしていくという目的を持つものである。職業を活かした社会貢献の理念に従って自分自身を高め、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。（2016年に追加）

職業奉仕の森

職業倫理 II 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用

（職業II社会への奉仕）

顧客、取引業者、

従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 II 天職（尊重、崇高）

職業を活かした

社会貢献

具体的に
考えてみよう

四つのテスト

職業奉仕の森

みんなのためになるか

好意と
友情

真実か
どうか

好意と友情

みんなに
公平か

真実か
どうか

職業

顧客

事業

職業倫理

大職

を最重祖
最善の経

客、取引先
乗員、地域

仕の

理

法

界

職業奉仕の森

名称は？

職業奉仕の森 名称？

職業倫理 II 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用

(職業II社会への奉仕)

顧客、取引業者、

従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 II 天職(尊重、崇高)

職業を活かした

社会貢献

職業人としてのロータリアンの務め

職業倫理 Ⅱ 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用
(職業Ⅱ社会への奉仕)

顧客、取引業者、

従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 Ⅱ 天職(尊重、崇高)

職業を活かした

社会貢献

職業人としてのロータリアンの務め



職業倫理 ○

職業を通じて社会に奉仕すること ○

A F Sheldon の経営哲学 ○

職業は天職である ○

ロータリーの目的(第2) ○

標準ロータリークラブ定款(第6条の2) ○

四つのテスト、職業倫理訓、大連宣言 ○

職業人としてのロータリアンの務め



ロータリーの
職業奉仕

職業奉仕 は 難しくない！

職業奉仕

職業人としての
ロータリアンの務め



職業奉仕は、森である

職業倫理 II 尊敬、信頼

事業に奉仕の理念を適用
(職業 II 社会への奉仕)

顧客、取引業者、
従業員、地域、業界

シェルドン

顧客満足を最重視する

最善の経営方法

シェルドン

職業 II 天職(尊重、崇高)

職業を活かした

社会貢献

職業奉仕 は 難しくない！

最後に

なぜ、私達はロータリーが好きなのか？

なぜ、私達はロータリーを退会しないのか？

ロータリアンとしての

魅力、価値、喜び、誇りとは？

本来なら出会えない異業種の会員が、ロータリーの志を共にする仲間となって睦み集う「親睦の喜び」。仕事やロータリアンとしての在り方を「学ぶ喜び」。あらゆる機会に社会に貢献する「奉仕の喜び」。それらを楽しいと思う少年少女のような「純真さ」。自らを「我、道義の職業人たらん」と律し、自らを多少なりとも立派な人間でありたいと思う「自尊心」。そして成功や飛躍の「チャンス」、素晴らしい「感動」。

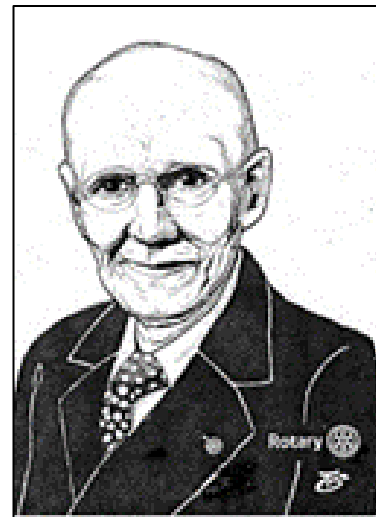
本来なら出会えない異業種の会員が、ロータリーの志を共にする仲間となって睦み集う「親睦の喜び」。仕事やロータリアンとしての在り方を「学ぶ喜び」。あらゆる機会に社会に貢献する「奉仕の喜び」。それらを楽しいと思う少年少女のような「純真さ」。自らを「我、道義の職業人たらん」と律し、自らを多少なりとも立派な人間でありたいと思う「自尊心」。そして成功や飛躍の「チャンス」、素晴らしい「感動」。

ロータリーは、人生を豊かにする！

本来なら出会えない異業種の会員が、ロータリーの志を共にする仲間となって睦み集う「親睦の喜び」。仕事やロータリアンとしての在り方を「学ぶ喜び」。あらゆる機会に社会に貢献する「奉仕の喜び」。それらを楽しいと思う少年少女のような「純真さ」。自らを「我、道義の職業人たらん」と律し、自らを多少なりとも立派な人間でありたいと思う「自尊心」。そして成功や飛躍の「チャンス」、素晴らしい「感動」。

Grow Rotarians & Enjoy Rotary

ご静聴に
感謝申し上げます。



Guy Gundaker のロータリー観

What is Rotary ?

～ We shall remember Guy Gundaker ～
(日本語版 2024 年)



本書は、Guy Gundaker の著作『A Talking Knowledge of Rotary』（1916 年）の翻訳や解説ではなく、あくまで“Guy Gundaker のロータリー観”そのものを解説しています。具体的には、『A Talking Knowledge of Rotary』の内容を私なりに再整理して分かり易く紹介しながら、そこに刻まれた“Guy Gundaker のロータリー観”について真摯に解説し、それを日本語版と英語版で発行しました。

特に、“Guy Gundaker のロータリー観”は「Grow Rotary」を目指す現代のロータリーでも大いに活かすべき考え方であることを、後半の「6. Gundaker の今日的意義」で強調しています。

本書を読んでくださったロータリアンにおかれましては、Guy Gundaker の大ファンになっていただき、ロータリーを今まで以上に好きになってくだされば、私にとって望外の喜びです。

鈴木 一作

下記のQRコードで、

「03. What is Rotary ?」

からダウンロード可能。



